

田村 勝

まさる

FOR

田子・福住町・福田町・鶴巻・仙石

事務所：仙台市宮城野区福田町1丁目9-10
電話番号：022-258-1525
ファックス：022-258-1681
✉mas.tamura@icloud.com

ホームページ



昨年8月に仙台市議会議員に初当選いたしました。現在、仙台市議会、自由民主党会派に所属し、地域の為に活動しております。今後も高砂地区を中心に宮城野区と仙台の発展の為に尽力してまいります。

令和元年9月30日 一般質問

初登壇

1. 市有施設の国旗の管理徹底を求める

国際化が進んでいく中で、公的施設で掲揚する国旗がどのような状態であるべきかを市長に伺います。

(回答：適切な管理のもと国旗が掲揚されるよう、さらに徹底してまいります。)



2. 高砂小学校区を例としたあるべき児童クラブについて

高砂小学校区のように、本市における規模を縮小した児童クラブの状況、またその改善策を伺います。

(回答：高砂児童館など、小学校との距離が離れている場合、低学年や学校に近い地域の児童が学校のサテライト室を利用できるよう配慮するなど、運用上の工夫も行っているところですが、なお一層、それぞれの地域の実情に沿った課題対応も必要と認識しております。)

→令和2年度より高砂小学校区児童クラブサテライトは対象学年を拡大することになりました。

令和元年9月30日 一般質問

台風19号

1. 浸水により稼働停止した田子排水機場の改善策を求める

浸水があっても排水し続けるよう、今後の対策とその時期、改善にはどの程度の日数を要するのかを伺います。

(回答：建屋内に雨水が侵入しないよう、換気口の位置の変更や浸水防止施設の設置につきましては6月末までに実施してまいります。)

田子排水機場（福住町）



2. 小鶴雨水ポンプ場の建設計画について（田子地区の雨水対策について）

田子地区は仙台貨物ターミナル駅移転事業に伴う様々な事業による環境の変化が危惧されます。水田の減少で雨水をうける排水機場への負担は以前にも増してくるものと思われます。根本的な対策として10年前に計画され、震災により計画が遅れている小鶴雨水ポンプ場の今後の建設計画について伺います。その建設計画が遅れるのであれば、応急的な対策について伺います。

(回答：田子地区等における雨水対策として、小鶴雨水ポンプ場を平成21年度に下水道法の事業計画に位置づけておりますが、その後の震災以降、復興関連事業を中心に進めざるをえませんでした。そのような中でも、当該地区の浸水被害軽減をはかるため、暫定施設として仙石排水ポンプ場を整備し、平成28年に供用したところでございます。小鶴雨水ポンプ場の建設には長期間を要することから、今般の台風19号の浸水被害等を踏まえ、完成にいたるまでの被害軽減策についても検討してまいりたいと思います。)

3. 高砂地区を例とした仙台市の排水施設の機能不全対策について

田子排水機場の他、同様に電気系統への浸水により、蒲生雨水ポンプ場の不稼働、また、高砂南部排水機場のポンプ1台の故障、白鳥2丁目の排水ポンプは詰まりが原因で十分に機能せず、高砂二丁目の排水ポンプは、4本中2本のホースが稼働中に機能しなくなった等、あげれば枚挙にいとまがないという状況です。このようなことを踏まえて、管理、点検方法を含めた、今後の仙台市の雨水排水施設に対するお考えを市長に伺います。

(回答：管理点検について、仙台市の雨水排水設備は、昭和61年8月5日の豪雨を契機にして整備水準を見直して、これまでポンプ場や雨水幹線等の整備をすすめてきたところでございます。しかしながら、近年の気候変動の影響を受けて、今般の台風19号のような想定を超える大雨に伴いまして、市内各地で浸水被害が発生するなど、更なる災害への備えは喫緊の課題となってきております。このことから浸水被害の軽減にむけて、整備計画の前倒しを含め一層の取組みを加速させていく必要がある一方、それら施設を有効に活用するための維持管理につきましても、その重要性がますます高まっているものと考えています。今後は、施設の排水機能が十分に発揮できるように、パトロールや定期点検などの維持管理の取組みについてより一層の強化を図ってまいります。)



向田集会所裏排水ポンプ
(高砂二丁目)

1. JR 福田町駅バリアフリー化の進捗状況について

基本的に駅のバリアフリー化につきましては、既存の駅を改善するのが原則です。このJR福田町駅の場合は既存の駅を改善するのが困難ということで、駅移設も選択肢の一つとして検討をしていると聞きおよんでおります。そして今年度（令和元年度）、福田町駅整備検討調査費として1,500万円が計上されておりますが、現時点でも予算執行がされていない状況と伺っております。長年バリアフリー化の要望がある中、地域住民の方は、進展を望んでおります。そこでJR福田町駅バリアフリー化の進捗について伺います。

(回答/現在バリアフリー化の方針決定において、JR東日本と協議をすすめておりますが、既存の鉄道施設の確認や、整備計画等の協議に時間を要しているところと伺っています。今後、これらの協議が整い次第、速やかに駅周辺施設整備についての調査検討を実施致しまして、早期にバリアフリー化が実現できるよう鋭意取り組んでまいります。)



JR 仙石線福田町駅



1. 既存の駅の改修なのか、駅を移設するのかをはっきり示して欲しい。

Q: 福田町駅のバリアフリー化について、既存の駅の改修か、駅を移設するのかお示ください。

(回答/この度、仙台市と、JR東日本の方で、現位置での改修は困難との共通認識に至り、先週末(2月下旬)に駅移設を基本に検討していくことについて確認書を取り交わしをしました。)

2. JR 福田町駅の移設先について示して欲しい。

Q: 既存の駅の改修という選択肢がなくなり、移設とのことだが、移設先についてお示ください。

(回答/現位置より西側のJR東日本宮城野運輸区近辺と考えるが利便性と事業費を勘案して最適な位置を検討していきます。)

3. 令和2年度に計上された4,800万円の内訳について伺う。

Q: 令和2年度、福田町駅結節点整備検討調査費等の予算、いわゆる福田町駅バリアフリー化の予算として計上されました4,800万円の内訳についてうかがいます。

(回答/基本設計に1,500万円、実施設計に3,300万円としております。)

4. どのような駅周辺施設を整備していく予定なのかお示ください。

(回答/今後の設計の中で具体的に検討していくものでございますが、自家用車、タクシーの乗降場、駐輪場などが必要と考えております。)

5. 整備をする前段階で地元地域等の意見を聞く機会を予定しているのか伺います。

Q: 地域性にあった整備、そして、地域の発展に可能性をもてるような整備をすすめていただきたいと思います。そこで、整備をする前段階で地元地域の意見を聞く機会を予定しているのか伺います。

(回答/円滑にすすめていくためには、地域の理解が必要です。これまでも意見を聞きながらJR東日本と協議をしてきた。今後についても同様に地域の皆さまの意見を聞きながら進めてまいります。)

6. 移設後の駅周辺に限定した周辺課題の認識と、周辺課題の一括整備について求めます。

Q: 福田町駅を移設すると同時に、現在の周辺の課題の解決を一体的に整備していただきたい。

そこで、どのような要望があるかをお示ください。

(回答/JR仙石線福田用水踏切拡張要望と福住、仙石の水害対策要望を認識している。)

Q: JR仙石線福田用水踏切拡張についての整備も含めて進めていただきたいがいかがでしょうか。

(回答/福田町駅のバリアフリー化が一步前進したことから、踏切の拡張につきましても関係部局と調整をはかりながらJR東日本と協議をすすめる早期の事業化に向け進めてまいります。)

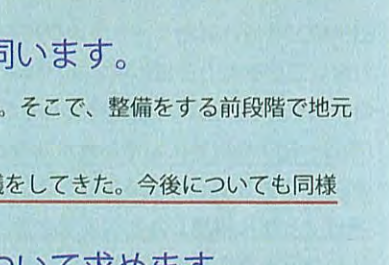
Q: 駅移設に伴う周辺整備により、福住町、仙石地区の水害が悪化するような本末転倒の状況にならないように整備をしていただきたい。

(回答/仙石、福住町、田子地区の浸水被害について、仙台市としても早期に対策を講じなければならない地区の一つと考えます。駅移設に伴う雨水排水設備の整備についても関係部署と連携して取り組んでまいります。)

最後に、この駅移設をチャンスと捉え、この機会に一体的な整備、地元の不安が一気になくなるような整備をしていただければと思っております。



JR 東日本宮城野運輸区



JR 仙石線福田用水踏切

PROFILE

昭和54年11月、仙台市生まれ、東北学院大学卒業後、民間企業で12年間、国内外との取引を経験。その後、國學院大學を卒業し、神職資格を取得。現在、高砂地区に鎮座する9神社の禰宜を務める。仙台市議会議員1期目、市民教育委員会、子育て環境充実調査特別委員会に所属。